

9.9 植物

9.9.1 調査結果の概要

(1) 調査内容

工事の実施、施設の有存在に伴う植物への影響を予測及び評価するために、表9.9-1に示す項目について調査した。

表 9.9-1 植物の調査項目

調査項目	
植 物	<ul style="list-style-type: none">・ 植物相の状況（生育種及び植物相の特徴）・ 植生の状況・ 保全すべき種及び保全すべき群落の状況・ 保全すべき種及び保全すべき群落の生育環境・ 緑被率または緑視率等を指標とした緑の量

(2) 調査方法

1) 既存資料調査

既存資料調査では、表 9.9-2 に示す文献を収集、整理した。

表 9.9-2 既存文献調査の収集資料

No.	文献名等	整理内容
1	河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)	綾瀬川(主に草加市)における最新の分布情報を整理。
2	埼玉県レッドデータブック2011植物編(平成23年、埼玉県)	対象事業実施区域が位置する「加須・中川低地」及び近接する「大宮台地」における分布情報を整理。
3	1998年版埼玉県植物誌(平成10年、埼玉県教育委員会)	川口市、草加市及び越谷市における分布情報を整理。
4	川口市植生調査報告書(平成4年、川口市)	戸塚地区における分布情報を整理。
5	戸塚の緑のゆくえ(平成13年、川口市立戸塚図書館)	綾瀬川(佐藤橋付近)における分布情報を整理。
6	地元環境団体資料等(川口植物の会、綾瀬川を愛する会、自然探検コロボックルくらぶ等)	綾瀬の森(通称)等の対象事業実施区域近傍の分布情報を整理。

2) 現地調査

ア 植物相の状況

調査範囲内を踏査し、出現するシダ植物以上の高等植物を対象として植物相を特徴付ける主要な生育種の有無を目視観察により調査し記録した。

保全すべき種が確認された場合、生育個体数、生育環境等を記録した。

イ 植生の状況

主要な植物群落に調査地点を設定し、ブラウーンブランケ法の全推定法による群落コドラート調査を行った。

現地踏査による植生の判読と航空写真判読による植生分布の確認を行った。

保全すべき群落が確認された場合、生育環境等を記録した。

ウ 緑被率または緑視率等を指標とした緑の量

緑被率は植生調査結果及び空中写真判読等により緑被の区分ごとの分布を把握し、緑視率は写真撮影を行い、画面上の緑の割合を計測した。

(3) 調査地域・調査地点

1) 既存文献調査

調査地域は、対象事業実施区域及びその周辺とした。

2) 現地調査

ア 植物相の状況

調査地域は、前掲「9.8 動物」と同様に、図 9.9-1 に示す調査範囲とした。

調査範囲は、対象事業実施区域及び周辺 200m の範囲を基本とし、地元の環境活動が盛んな「綾瀬の森」を含めた範囲とした。

調査地点は調査範囲全域とした。

イ 植生の状況

調査地域は、前掲「ア 植物相の状況」と同様とした。

調査地点は調査範囲全域とし、コドラートは植生区分ごとに 1～2 箇所程度設置した。

ウ 緑被率または緑視率等を指標とした緑の量

調査地域は、前掲「ア 植物相の状況」と同様とした。

緑視率の調査地点は、対象事業実施区域周辺の路上の代表地点とし、表 9.9-3 及び図 9.9-1 に示すとおりとした。

表 9.9-3 緑視率の調査地点

No.	調査地点
1	戸塚環境センター南
2	北辰病院駐車場付近

(4) 調査期間等

1) 既存資料調査

既存資料は、入手可能な最新年の資料を入手した。

2) 現地調査

植物の調査期間等は、表 9.9-4 に示すとおりとした。

表 9.9-4 植物の調査期間等

調査項目	調査期間
植物相の状況	初夏季（平成 30 年 6 月 18 日～19 日） 夏季（平成 30 年 8 月 23 日～24 日） 秋季（平成 30 年 10 月 9 日～10 日） 春季（令和元年 5 月 9 日～10 日）
植生の状況	夏季（平成 30 年 7 月 9 日～10 日）
緑の量	夏季（平成 30 年 7 月 9 日～10 日、8 月 18 日）

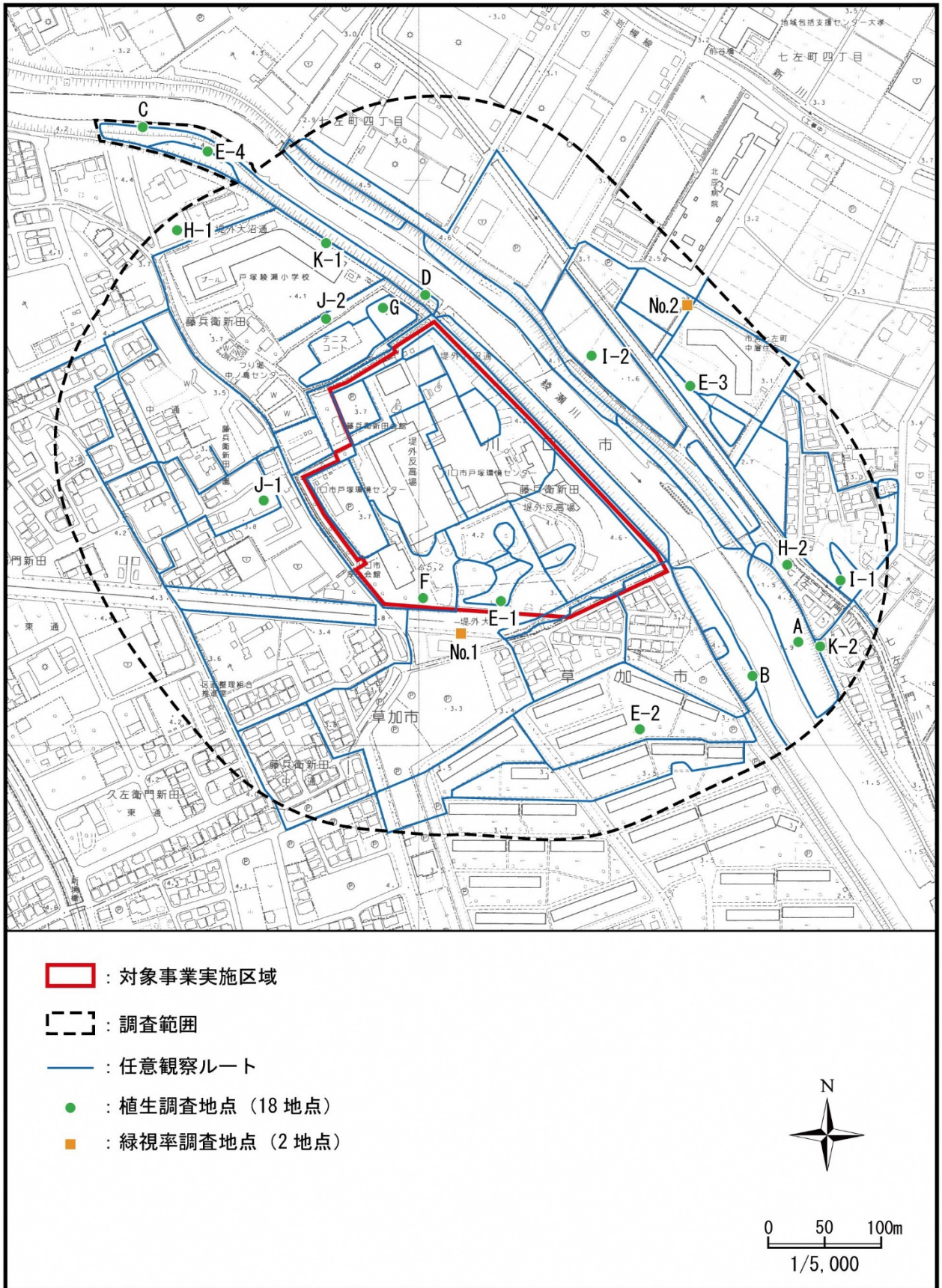


図 9.9-1 植物の調査範囲及び調査地点

(5) 保全すべき種の選定

保全すべき種の選定基準は、表9.9-5に示すとおりとした。

表 9.9-5 保全すべき種の選定基準

No.	文献及び法令名	区分	略号
①	文化財保護法 (昭和 25 年、法律第 214 号)	特別天然記念物 天然記念物	特天 天
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の 保存に関する法律 (平成 4 年、法律第 75 号) (以下、「種の保存法」という。)	国内希少野生動植物種 国際希少野生動植物種 特定国内希少野生動植物種	国内 国際 特定
③	埼玉県文化財保護条例 (昭和 30 年、埼 玉県条例第 46 号) (以下、「埼玉県文化 財」という。)	県指定天然記念物	県天
④	埼玉県希少野生動植物の種の保存に関 する条例 (平成 12 年、埼玉県条例第 11 号) (以下、「埼玉県保護条例」という。)	県内希少野生動植物種	希少
⑤	環境省レッドリスト 2019 (平成 31 年、 環境省) (以下、「環境省 R L 2019」と いう。)	絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I 類 絶滅危惧 I A 類 絶滅危惧 I B 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 情報不足 絶滅のおそれのある地域個体群	EX EW CR+EN CR EN VU NT DD LP
⑥	埼玉県レッドデータブック 2011 植物 編 (平成 24 年、埼玉県環境部自然環境 課) (以下、埼玉県 R D B 2011)	絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I A 類 絶滅危惧 I B 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 情報不足 絶滅のおそれのある地域個体群	EX EW CR EN VU NT DD LP

(6) 調査結果

1) 既存資料調査

「川口市植生調査報告書」（平成4年、川口市）によると、戸塚地区において、スギナ、ハンノキ、ナズナ、ナガボノシロワレモコウ、ヒガンバナ等が確認されている。

また、保全すべき種として、161種が確認されている。保全すべき種の一覧は前掲「第3章対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.2 自然的状況 (5)動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況 イ 植物」に示すとおりである。

2) 現地調査

ア 植物相の状況

(ア) 植物相の状況（生育種及び植物相の特徴）

現地調査の結果、植物は表9.9-6(1)～(11)に示す116科538種が確認された。

調査範囲の環境は、主に市街地等であり、綾瀬川沿いに草地や水田環境が存在する。また、植栽地等の樹林環境がパッチ状に分布する。

市街地では、植栽地にマテバシイ、ウバメガシ、ドウダンツツジ等が確認され、道端等にセイヨウタンポポやオオキンケイギク等が確認された。綾瀬川の河川敷においては、オオバコ、ススキ、ヨシ等が確認され、水田環境では、コナギやマコモ等の水生植物が確認された。

表 9.9-6(1) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期			
				初夏	夏	秋	春
1	シダ植物	イワヒバ	カタヒバ				●
2		トクサ	スギナ	●	●	●	●
3			イヌドクサ	●	●		
4		ハナヤスリ	フユノハナワラビ	●		●	●
5			ハマハナヤスリ			●	
6			コハナヤスリ			●	
7		フサシダ	カニクサ	●		●	●
8		ミズワラビ	ミズワラビ			●	
9		イノモトソウ	イノモトソウ	●	●	●	●
10		オンダ	ナガバヤブソテツ	●			
11			ヤブソテツ	●	●	●	●
12		メシダ	イヌワラビ	●	●	●	●
13			ヘビノネゴザ				●
14			シケシダ	●			
15	裸子植物	ソテツ	ソテツ	●	●	●	●
16		イチョウ	イチョウ	●	●	●	●
17		マツ	ヒマラヤスギ	●	●	●	●
18			アカマツ	●		●	●
19			ヒメコマツ			●	●
20			クロマツ		●	●	●
21		スギ	コウヤマキ	●	●	●	●
22		ヒノキ	カマクラヒバ	●		●	●
23			カイヅカイブキ	●	●	●	●
24			ハイビャクシン			●	●
25			メタセコイア	●	●	●	●
26		マキ	イヌマキ	●	●		
27		イチイ	イチイ				●
28			カヤ	●	●	●	●
29	離弁花類	ヤマモモ	ヤマモモ	●	●	●	●
30		クルミ	オニグルミ	●	●	●	●
31			サワグルミ	●	●	●	●
32		ヤナギ	シダレヤナギ	●	●		
33			アカメヤナギ	●	●	●	●
34			カワヤナギ			●	●
35			ネコヤナギ			●	
36			コゴメヤナギ	●	●	●	
37			タチヤナギ	●	●	●	●
38		カバノキ	ハンノキ	●	●	●	●
39			アカシデ	●	●		●
40			イヌシデ	●	●	●	●
41		ブナ	スダジイ	●	●	●	●
42			マテバシイ	●	●	●	●
43			クヌギ	●	●	●	●
44			アラカン	●	●	●	●
45	シラカン		●	●	●	●	

表 9.9-6(2) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期			
				初夏	夏	秋	春
46	離弁花類	ブナ	ウバメガシ	●	●	●	●
47			コナラ	●	●	●	●
48		ニレ	ムクノキ	●	●	●	●
49			エノキ	●	●	●	●
50			アキニレ			●	●
51			ケヤキ	●	●	●	●
52		クワ	ヒメコウゾ	●			
53			カジノキ	●			
54			クワクサ	●	●	●	
55			カナムグラ	●	●	●	●
56			マグワ	●	●	●	●
57			ヤマグワ			●	●
58		イラクサ	クサマオ		●		
59			ミズ				●
60		タデ	ミズヒキ	●	●	●	●
61			ヒメツルソバ	●	●	●	●
62			ヤナギタデ		●	●	
63			シロバナサクラタデ			●	
64			オオイヌタデ	●	●	●	
65			イヌタデ		●	●	
66			サデクサ			●	
67			ヤノネグサ			●	
68			イシミカワ	●	●	●	●
69			ハナタデ			●	
70			ママコノシリヌグイ		●		
71			ミゾソバ	●	●	●	●
72			ミチヤナギ	●	●	●	●
73			イタドリ	●	●	●	●
74			オオイタドリ				●
75			スイバ	●	●	●	●
76	アレチギンギシ		●	●	●	●	
77	ナガバギンギシ		●	●	●	●	
78	ギンギシ					●	
79	コギンギシ		●			●	
80	エゾノギンギシ	●	●				
81	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	●	●	●	●	
82	オシロイバナ	オシロイバナ	●	●	●		
83	ザクロソウ	ザクロソウ	●	●	●		
84	スベリヒユ	スベリヒユ	●	●	●		
85		ハゼラン	●		●	●	
86	ナデシコ	ノミノツヅリ	●			●	
87		オランダミミナグサ	●	●	●	●	
88		ツメクサ	●			●	
89		ムシトリナデシコ	●				
90		ウシハコベ	●	●	●	●	
91		コハコベ	●	●		●	
92		ミドリハコベ	●	●	●	●	
93	アカザ	シロザ	●	●	●	●	
94		コアカザ	●	●		●	
95		ゴウシュウアリタソウ	●		●	●	
96	ヒユ	ヒカゲイノコズチ	●	●	●		

表 9.9-6(3) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期			
				初夏	夏	秋	春
97	離弁花類	ヒユ	ヒナタイノコズチ	●	●	●	●
98			ツルノゲイトウ			●	
99			イヌビユ	●	●		
100			ホソアオゲイトウ		●	●	
101		モクレン	コブシ	●	●	●	●
102		クスノキ	クスノキ	●	●	●	●
103			シロダモ	●	●	●	●
104		ロウバイ	ロウバイ			●	
105		スズカケノキ	アメリカスズカケノキ	●	●	●	●
106		キンボウゲ	センニンソウ				●
107	ケキツネノボタン		●	●	●	●	
108	タガラシ		●			●	
109		キツネノボタン		●			
110	メギ	ヒイラギナンテン	●	●	●	●	
111		ナンテン	●	●	●	●	
112	アケビ	ゴヨウアケビ				●	
113		ミツバアケビ			●	●	
114	ツヅラフジ	アオツヅラフジ		●	●	●	
115	マツモ	マツモ				●	
116	ドクダミ	ドクダミ	●	●	●	●	
117		ハンゲショウ	●				
118	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ		●	●	●	
119	ツバキ	ヤブツバキ	●	●	●	●	
120		サザンカ	●	●	●	●	
121		サカキ	●		●	●	
122		ヒサカキ	●		●	●	
123		モッコク	●	●	●	●	
124	ケシ	タケニグサ	●	●	●		
125		ナガミヒナゲン	●	●		●	
126		ヒナゲン				●	
127	アブラナ	セイヨウカラシナ	●	●		●	
128		ナズナ	●	●	●	●	
129		タネツケバナ			●	●	
130		カラクサナズナ				●	
131		マメグンバイナズナ		●	●	●	
132		コイヌガラシ				●	
133		イヌガラシ	●	●	●	●	
134		スカシタゴボウ	●	●	●	●	
135		カキネガラシ				●	
136	ベンケイソウ	コモチマンネングサ	●	●		●	
137		オノマンネングサ			●		
138		ツルマンネングサ	●	●	●	●	
139		ヨコハママンネングサ	●		●	●	
140	ユキノシタ	ウツギ			●	●	
141		セイヨウアジサイ	●		●	●	
142		タコノアシ	●	●	●		
143		ユキノシタ			●		
144	トベラ	トベラ			●	●	
145	バラ	キンミズヒキ			●		
146		ウメ	●	●	●	●	
147		イトザクラ	●	●	●	●	

表 9.9-6(4) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期							
				初夏	夏	秋	春				
148	離弁花類	バラ	ジュウガツザクラ				●				
149			ソメイヨシノ	●	●	●	●				
150			ヘビイチゴ	●	●	●	●				
151			ヤブヘビイチゴ	●	●		●				
152			ビワ	●	●	●	●				
153			ヤマブキ	●	●	●	●				
154			セイヨウリンゴ	●		●	●				
155			レッドロビン	●		●	●				
156			コバナキジムシロ	●		●	●				
157			オヘビイチゴ	●	●	●	●				
158			ヤマザクラ		●	●	●				
159			スモモ	●		●	●				
160			カリン			●	●				
161			タチバナモドキ	●		●					
162			トキワサンザシ			●	●				
163			シャリンバイ	●	●	●	●				
164			ノイバラ	●	●	●	●				
165			セイヨウバラ	●		●	●				
166			クサイチゴ	●	●	●	●				
167			ナワシロイチゴ	●	●	●	●				
168			エビガライチゴ	●							
169			ナガボノシロワレモコウ		●	●					
170			ナガボノアカワレモコウ		●	●					
-					ワレモコウ属の一種	●	●	●			
171					コデマリ		●	●	●		
172					ユキヤナギ	●	●	●	●		
173			マメ		クサネム		●	●			
174					ネムノキ	●	●	●	●		
175					イタチハギ		●				
176					ヤブマメ	●	●				
177					アレチヌスビトハギ	●	●	●	●		
178					ヌスビトハギ		●				
179					ツルマメ	●	●	●			
180					マルバヤハズソウ	●	●	●			
181					ヤハズソウ	●	●	●	●		
182					メドハギ	●	●	●			
183					コメツブウマゴヤシ				●		
184					シナガワハギ		●	●			
185					クズ	●	●	●	●		
186					ハリエンジュ			●			
187					クスダマツメクサ	●					
188					コメツブツメクサ	●		●	●		
189					ムラサキツメクサ	●	●	●	●		
190					シロツメクサ	●	●	●	●		
191					ヤハズエンドウ	●		●	●		
192					スズメノエンドウ	●		●	●		
193					カスマグサ	●			●		
194					フジ	●	●	●			
195					カタバミ		イモカタバミ	●	●	●	●
196							カタバミ	●	●	●	●
197	ウスアカカタバミ	●		●			●				

表 9.9-6(5) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期				
				初夏季	夏季	秋季	春季	
198	離弁花類	カタバミ	アカカタバミ	●	●	●	●	
199			ムラサキカタバミ	●			●	
200			オッタチカタバミ	●	●	●	●	
201		フクロソウ	アメリカフウロ	●		●	●	
202		トウダイグサ	エノキグサ	●	●	●	●	
203			アレチニシキソウ	●				
204			ハイニシキソウ			●	●	
205			ショウジョウソウ	●		●		
206			トウダイグサ				●	
207			オオニシキソウ	●	●	●		
208			タカトウダイ				●	
209			コニシキソウ	●	●	●		
210			アカメガシラ	●	●	●	●	
211			ヒメミカンソウ	●				
212			ナガエコミカンソウ			●		
213			ナンキンハゼ	●	●	●	●	
214			ユズリハ	ユズリハ	●	●	●	●
215			ミカン	ユズ	●	●	●	●
216				ナツダイダイ			●	●
217		コクサギ		●	●	●	●	
218		カラスザンショウ		●	●	●	●	
219		センダン	センダン		●			
220		ウルシ	ヌルデ	●	●		●	
221		カエデ	イロハモミジ	●	●	●	●	
222		ムクロジ	フウセンカズラ		●			
223			ムクロジ	●	●	●	●	
224		トチノキ	トチノキ	●	●	●	●	
225		モチノキ	イヌツゲ	●	●	●	●	
226			モチノキ	●	●	●	●	
227			クロガネモチ			●	●	
228			ウメモドキ			●		
229		ニシキギ	ツルウメモドキ	●	●			
230			ニシキギ	●	●	●	●	
231			マサキ				●	
232			カントウマユミ			●		
233		ブドウ	ノブドウ	●	●	●	●	
234			キレバノブドウ	●		●	●	
235			ヤブガラシ	●	●	●	●	
236			ツタ	●	●	●		
237			エビヅル	●	●	●	●	
238		アオイ	モミジアオイ			●		
239			ゼニアオイ			●	●	
240		グミ	ツクバグミ	●	●		●	
241			アキグミ		●			
242		スマレ	タチツボスマレ	●	●		●	
243			スマレ	●	●	●	●	
244			アメリカスマレサイシン			●		
245			ツボスマレ				●	
246	シュウカイドウ	シキザキベゴニア	●					
247	ウリ	ゴキヅル		●	●			
248		スズメウリ	●					

表 9.9-6(6) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期			
				初夏季	夏季	秋季	春季
249	離弁花類	ウリ	アレチウリ	●	●	●	●
250			カラスウリ	●	●	●	●
251			キカラスウリ	●		●	
252		ミソハギ	サルスベリ	●	●	●	●
253		アカバナ	ヤマモモソウ			●	●
254			チョウジタデ		●	●	
255			ウスゲチョウジタデ			●	
256			メマツヨイグサ			●	●
257			コマツヨイグサ	●	●	●	●
258			ユウゲショウ	●	●	●	●
259			ヒルザキツキミノウ		●	●	●
260		アリノトウグサ	ホザキノフサモ				●
261		ミズキ	アオキ	●	●	●	●
262			フイリアオキ	●	●	●	●
263			アメリカヤマボウシ	●	●	●	●
264		ウコギ	タラノキ	●			●
265			カクレミノ	●	●	●	●
266			ヤツデ	●	●	●	●
267			セイヨウキツタ	●	●	●	●
268			キツタ			●	●
269		セリ	ノチドメ	●	●	●	●
270			オオチドメ		●		
271			チドメグサ			●	●
272			セリ	●	●		●
273			ヤブニンジン				●
274			ヤブジラミ	●			●
275			オヤブジラミ				●
276	合弁花類		リョウブ	リョウブ			●
277		ツツジ	ドウダンツツジ	●	●	●	●
278			アセビ	●	●	●	●
279			サツキ	●	●	●	●
280			オオムラサキ	●	●	●	●
281			ヒラドツツジ	●	●	●	●
282			ヤブコウジ	マンリョウ			●
283		サクラソウ	ヌマトラノオ			●	●
284			コナスビ	●		●	
285		カキノキ	カキノキ	●	●	●	●
286		エゴノキ	エゴノキ		●		
287		モクセイ	シナレンギョウ	●		●	●
288			シマトネリコ				●
289			トネリコ				●
290			ヤチダモ	●	●	●	●
291			ネズミモチ		●		
292			トウネズミモチ	●	●	●	●
293			キンモクセイ	●	●	●	●
294			ヒイラギモクセイ				●
295		ヒイラギ	●	●	●	●	
296		キョウチクトウ	キョウチクトウ	●	●	●	●
297			ツルニチニチソウ	●		●	●
298		ガガイモ	ガガイモ	●	●	●	●
299		アカネ	ヒメヨツバムグラ	●	●	●	●

表 9.9-6(7) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期				
				初夏	夏	秋	春	
300	合弁花類	アカネ	ヤエムグラ	●		●	●	
301			ヤイトバナ	●	●	●	●	
302		ヒルガオ	コヒルガオ	●	●	●		
303			ヒルガオ	●	●	●	●	
304			マルバルコウ		●	●		
305			マメアサガオ		●	●		
306			ベニバナマメアサガオ			●		
307			アサガオ			●		
308			マルバアサガオ			●		
309			ホシアサガオ			●		
310			モミジルコウ			●		
311			ムラサキ	ハナイバナ	●		●	
312				ヒレハリソウ		●	●	
313		キュウリグサ		●		●	●	
314		クマツヅラ	コムラサキ	●			●	
315			ムラサキシキブ	●	●			
316			クサギ	●	●	●	●	
317			ヒメイワダレソウ				●	
318			アレチハナガサ	●			●	
319			ダキバアレチハナガサ			●		
320		シソ	トウバナ	●	●		●	
321			シロバナカキドオシ				●	
322			カキドオシ	●	●	●	●	
323			ホトケノザ	●		●	●	
324			ヒメオドリコソウ			●	●	
325			シロネ	●	●	●		
326			メグサハッカ	●	●	●	●	
327			ヒメジソ			●		
328			ハナハッカ			●		
329			チリメンジソ	●	●	●		
330			ハナトラノオ			●		
331		ナス	クコ	●		●	●	
332			ホオズキ	●				
333			ワルナスビ	●	●	●		
334			ヒヨドリジョウゴ	●		●	●	
335	イヌホオズキ			●	●			
336	アメリカイヌホオズキ			●	●			
337	ゴマノハグサ		ツタバウンラン				●	
338		ウリクサ		●	●			
339		アメリカアゼナ		●	●			
340		タケトアゼナ			●			
341		アゼナ			●			
342		サギゴケ		●		●		
343		トキワハゼ	●	●	●	●		
344		オオカワヂシャ	●			●		
345		タチイヌノフグリ	●	●		●		
346		ムシクサ				●		
347		オオイヌノフグリ	●		●	●		
348	カワヂシャ	●			●			
349	ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ			●			
350	キツネノマゴ	キツネノマゴ	●	●	●			

表 9.9-6(8) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期			
				初夏	夏季	秋季	春季
351	合弁花類	ハマウツボ	ヤセウツボ	●			●
352		オオバコ	オオバコ	●	●	●	●
353			ヘラオオバコ	●	●	●	●
354			タチオオバコ			●	●
355		スイカズラ	ハナヅノツクバネウツギ	●		●	●
356			スイカズラ	●	●	●	●
357			サンゴジュ	●		●	●
358		オミナエシ	ノヂシャ				●
359		キキョウ	ホタルブクロ	●			●
360			キキョウソウ				●
361		キク	ブタクサ			●	
362			クワモドキ	●	●	●	●
363			ヒメヨモギ	●			
364			ヨモギ	●	●	●	●
365			カントウヨメナ	●	●	●	●
366			アメリカセンダングサ	●	●	●	●
367			コセンダングサ	●	●	●	●
368			トキンソウ	●		●	
369			イエギク	●			
370			アメリカオニアザミ	●	●	●	●
371			アレチノギク	●	●		
372			オオアレチノギク	●	●		●
373			オオキンケイギク	●		●	
374			ハルシャギク	●			
375			オオハルシャギク	●			
376			キバナコスモス			●	
377			アメリカタカサブロウ	●	●	●	
378			タカサブロウ			●	
379			ヒメムカシヨモギ		●	●	
380			ハルジオン				●
381			ハキダメギク		●	●	●
382			ウラジロチチコグサ	●	●	●	●
383			ハハコグサ	●	●	●	●
384			タチチチコグサ				●
385			チチコグサ	●		●	●
386			チチコグサモドキ	●	●		
387			ウスベニチチコグサ	●			●
388			キクイモ	●	●	●	
389			キツネアザミ				●
390			ブタナ		●		
391			オオヂシバリ	●	●	●	●
392	ニガナ					●	
393	アキノノゲシ		●	●		●	
394	トゲヂシャ					●	
395	コオニタビラコ					●	
396	ヤブタビラコ		●	●	●	●	
397	フキ		●	●	●	●	
398	ノボロギク	●		●	●		
399	セイタカアワダチソウ	●	●	●	●		
400	オオアワダチソウ			●			
401	オニノゲシ	●	●	●	●		

表 9.9-6(9) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期				
				初夏季	夏季	秋季	春季	
402	合弁花類	キク	ノゲシ	●	●	●	●	
403			ヒメジョオン	●	●	●	●	
404			ヒロハホウキギク			●		
405			セイヨウタンポポ	●	●	●	●	
406			カントウタンポポ	●		●	●	
407			オオオナモミ	●	●	●		
408			オニタビラコ	●	●	●	●	
409			単子葉類	トチカガミ	オオカナダモ			
410	コカナダモ						●	
411	ヒルムシロ	イトモ					●	
412	ユリ	ムラサキクンシラン		●		●	●	
413		ノビル		●	●	●	●	
414		ニラ		●	●	●	●	
415		ヒメヤブラン				●	●	
416		ヤブラン					●	
417		ジャノヒゲ		●	●	●	●	
418		カブダチジャノヒゲ		●		●	●	
419		ナガバジャノヒゲ				●		
420		オモト		●			●	
421		オオツルボ					●	
422		ツルボ					●	
423		リュウゼツラン		キミガヨラン	●		●	●
424		ヒガンバナ		ヒガンバナ			●	●
425	タマスダレ					●		
426	ヤマノイモ	ナガイモ		●			●	
427		ヤマノイモ		●	●			
428		オニドコロ			●			
429	ミズアオイ	コナギ			●	●		
430	アヤメ	キショウブ		●		●		
431		ニワゼキショウ		●		●	●	
432	イグサ	ホソイ		●			●	
433		スズメノヤリ					●	
434	ツユクサ	マルバツユクサ		●		●		
435		カロライナツユクサ				●		
436		ツユクサ		●	●	●	●	
437		イボクサ		●	●	●		
438		ノハカタカラクサ					●	
439	イネ	アオカモジグサ		●	●		●	
440		カモジグサ		●			●	
441		スズメノテッポウ				●	●	
442		メリケンカルカヤ				●	●	
443		コブナグサ				●		
444		カラスムギ		●			●	
445		ミノゴメ		●			●	
446		コバンソウ		●			●	
447		ヤクナガイヌムギ					●	
448		イヌムギ		●	●			
449		スズメノチャヒキ		●	●			
450		メウマノチャヒキ					●	
451		ギョウギシバ		●	●	●	●	
452		メヒシバ		●	●	●		

表 9.9-6(10) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期			
				初夏	夏	秋	春
453	単子葉類	イネ	コメヒシバ			●	
454			ハマガヤ			●	
455			イヌビエ	●	●	●	
456			ケイヌビエ	●	●	●	
457			タイヌビエ			●	
458			オヒシバ	●	●	●	
459			カゼクサ		●	●	
460			ニワホコリ			●	
461			コスズメガヤ	●	●	●	
462			オニウシノケグサ		●		
463			ヒロハノウシノケグサ				●
464			ドジョウツナギ				●
465			チガヤ	●		●	●
466			チゴザサ	●	●		
467			ネズミムギ	●			●
468			ホソムギ	●			
469			ササガヤ	●	●	●	
470			アシボソ			●	
471			オギ	●	●	●	●
472			ススキ	●	●	●	●
473			ケチヂミザサ	●	●		
474			ヌカキビ			●	
475			オオクサキビ			●	
476			シマスズメノヒエ	●	●	●	
477			チカラシバ			●	
478			クサヨシ	●	●	●	●
479			ヨシ	●	●	●	●
480			ツルヨシ		●		●
481			モウソウチク	●	●	●	●
482			アズマネザサ	●	●	●	●
483			ミヅイチゴツナギ				●
484			スズメノカタビラ	●	●	●	●
485			コイチゴツナギ				●
486			ナガハグサ				●
487			イチゴツナギ				●
488			オオスズメノカタビラ	●			●
489			ヒエガエリ	●			●
490			クマザサ			●	●
491			アキノエノコログサ		●	●	
492			コツブキンエノコロ			●	
493			キンエノコロ			●	
494			エノコログサ	●	●	●	
495			ムラサキエノコロ			●	
496			オカメザサ	●		●	●
497			セイバンモロコシ	●	●	●	
498			ネズミノオ			●	
499			カニツリグサ				●
500			ナギナタガヤ	●			
501			マコモ	●	●	●	●
502			シバ		●	●	
503	ヤシ	シユロ	●	●	●	●	

表 9.9-6(11) 確認種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	調査時期			
				初夏季	夏季	秋季	春季
504	単子葉類	サトイモ	ショウブ	●			
505			カラスビシャク			●	●
506		ウキクサ	アオウキクサ	●	●	●	●
507			ウキクサ	●	●	●	●
508		ガマ	ヒメガマ		●	●	●
509		カヤツリグサ	アオスゲ				●
510			アゼナルコ	●			●
511			シラスゲ				●
512			マスクサ	●			●
513			ウマスゲ	●			●
514			ヤガミスゲ	●	●		●
515			ノゲヌカスゲ				●
516			ミコシガヤ	●	●		
517			ヤブスゲ				●
518			アゼスゲ				●
519			ヤワラスゲ	●			●
520			シュロガヤツリ	●			
521			チャガヤツリ			●	
522			ヒメクグ	●	●	●	
523			タマガヤツリ		●	●	
524			ホソミキンガヤツリ		●	●	
525			メリケンガヤツリ	●		●	
526			ヒナガヤツリ		●	●	
527			コゴメガヤツリ	●	●	●	
528			カヤツリグサ			●	
529			アオガヤツリ		●		
530			ハマスゲ		●		
531			ミズガヤツリ			●	
532			マツバイ			●	
533			ヒデリコ		●	●	
534			イヌホタルイ		●	●	
535			サンカクイ		●		
536		ショウガ	ミョウガ	●			
537	ラン	シラン	●		●	●	
538		ネジバナ	●		●	●	
—	—	116 科	538 種	339 種	290 種	376 種	354 種

(イ) 保全すべき種の状況及び生育環境

現地調査の結果、保全すべき種は、コハナヤスリ、ミズワラビ、シロバナサクラタデ、コギシギシ、マツモ、コイヌガラシ、タコノアシ、ナガボノシロワレモコウ、ナガボノアカワレモコウ、ワレモコウ属の一種、ゴキヅル、ウスゲチョウジタデ、ホザキノフサモ、ヌマトラノオ、カワヂシャ、イトモ、ウマスゲの16種が確認された。保全すべき種一覧は表 9.9-7、調査時期別の保全すべき種の確認位置は図 9.9-2(1)～(4)、保全すべき種の生態及び確認状況は表 9.9-8(1)～(16)に示すとおりである。

表 9.9-7 保全すべき種一覧 (植物)

No.	分類	科名	種名	対象事業実施区域		選定基準						備考		
				内	外	文化財保護法	種の保存法	埼玉県文化財	埼玉県保護条例	2019 環境省 R L	埼玉県 R D B			
-	シダ植物	イワヒバ	カタヒバ	○								(NT)	植栽・逸出	
1		ハナヤスリ	コハナヤスリ		●							EN		
2		ミズワラビ	ミズワラビ		●							NT		
-	裸子植物	マツ	ヒメコマツ	○								(NT)	植栽	
3	離弁花類	タデ	シロバナサクラタデ		●							NT		
4			コギシギシ		●							VU	VU	
5			マツモ	マツモ		●							VU	
-			ドクダミ	ハンゲショウ		○							(VU)	植栽
6			アブラナ	コイヌガラシ		●							NT	NT
7			ユキノシタ	タコノアシ		●							NT	VU
8			バラ	ナガボノシロワレモコウ		●								NT
9				ナガボノアカワレモコウ		●								VU
-				ワレモコウ属の一種		●								NT/VU
10			ウリ	ゴキヅル		●								VU
11			アカバナ	ウスゲチョウジタデ		●							NT	VU
12			アリノトウグサ	ホザキノフサモ		●								EN
13	合弁花類	サクラソウ	ヌマトラノオ		●								NT	
14			カワヂシャ		●							NT	VU	
15	単子葉類	ヒルムシロ	イトモ		●							NT	VU	
16			カヤツリグサ	ウマスゲ		●							NT	
-		ラン	シラン	○								(NT)	(EN)	植栽
-	-	14科	16種	0種	16種	0種	0種	0種	0種	6種	16種			

- 注 1) 種名・配列は、基本的に「植物目録 1987」(昭和 63 年、環境庁)に従った。
 2) 保全すべき種の選定基準となる法令・文献及び評価区分は前掲表 9.9-5 のとおりである。
 3) 確認状況を○で示したカタヒバ、ヒメコマツ、ハンゲショウ、シランの4種は植栽された個体と考えられるため、保全すべき種から除外し、保全すべき種の選定基準は括弧をつけた表記とした。帰化などの判断は「外来種ハンドブック」(平成 14 年、日本生態学会)、「日本帰化植物写真図鑑」(平成 13 年、全国農村教育協会)、「日本帰化植物写真図鑑 第2巻」(平成 27 年、全国農村教育協会)、「日本の帰化植物」(平成 15 年、平凡社)などを参考にした。
 4) ワレモコウ属の一種は、同定根拠となる開花状況が確認できず、ナガボノシロワレモコウかナガボノアカワレモコウかを識別できなかったものを指す。いずれも保全すべき種に該当しており、ここでは保全すべき種に含め、保全すべき種の選定基準は両種のもの併記した。

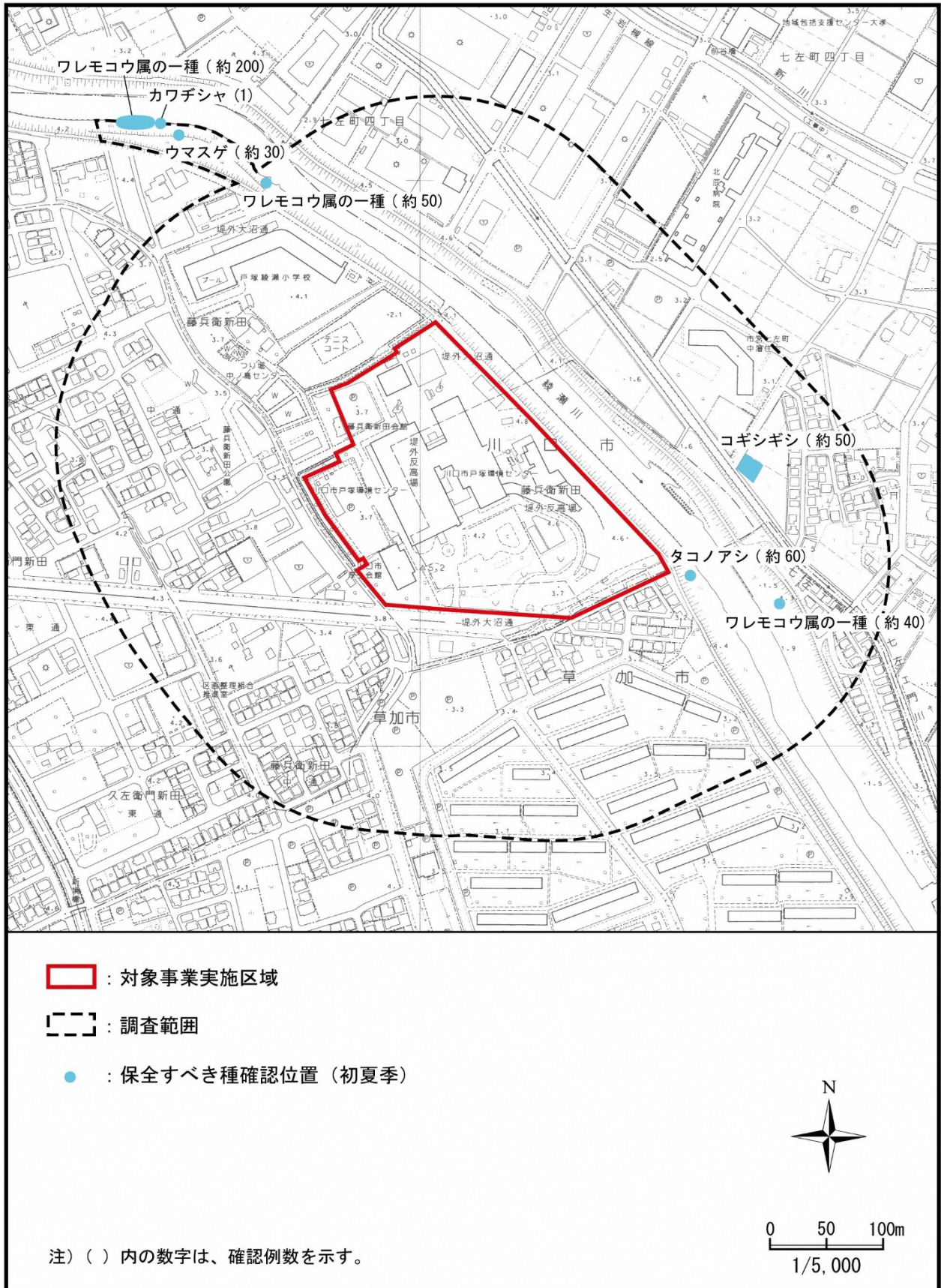
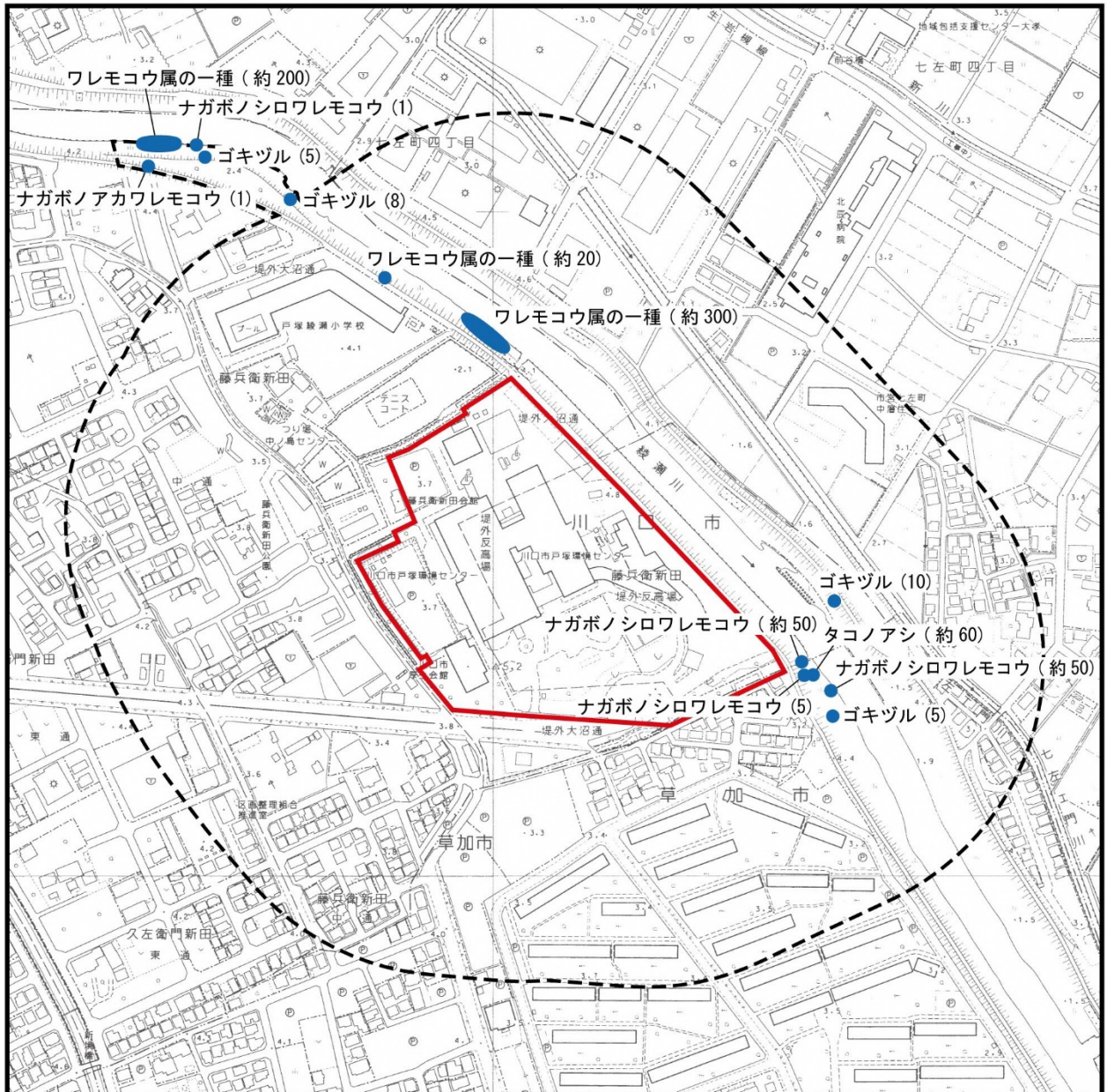
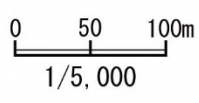


図 9.9-2(1) 保全すべき種の確認位置 (植物相: 初夏季)

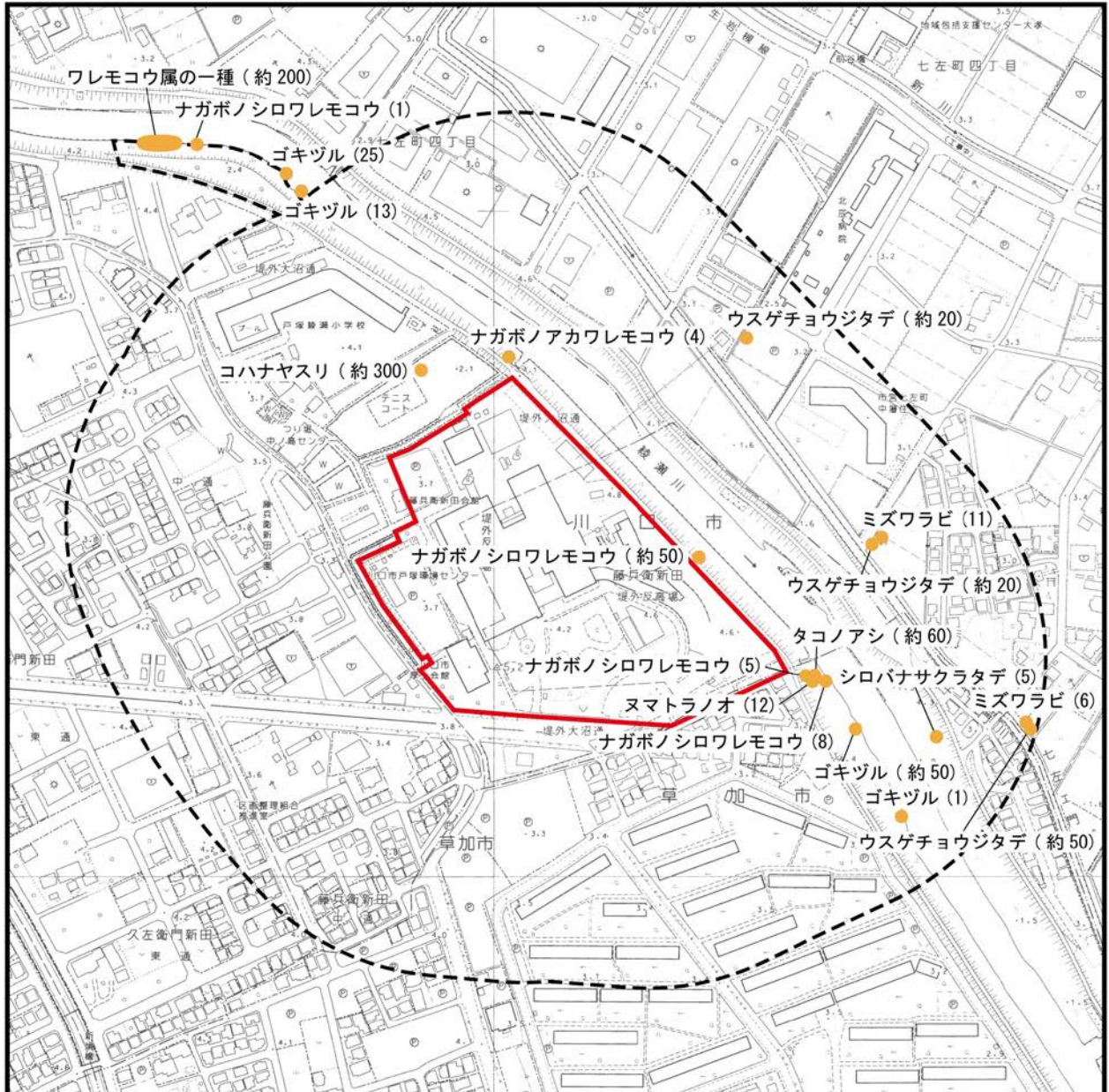


- : 対象事業実施区域
- : 調査範囲
- : 保全すべき種確認位置 (夏季)



注) () 内の数字は、確認例数を示す。

図 9.9-2(2) 保全すべき種の確認位置 (植物相：夏季)



- : 対象事業実施区域
- : 調査範囲
- : 保全すべき種確認位置 (秋季)

注) () 内の数字は、確認例数を示す。

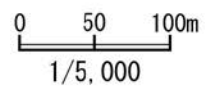
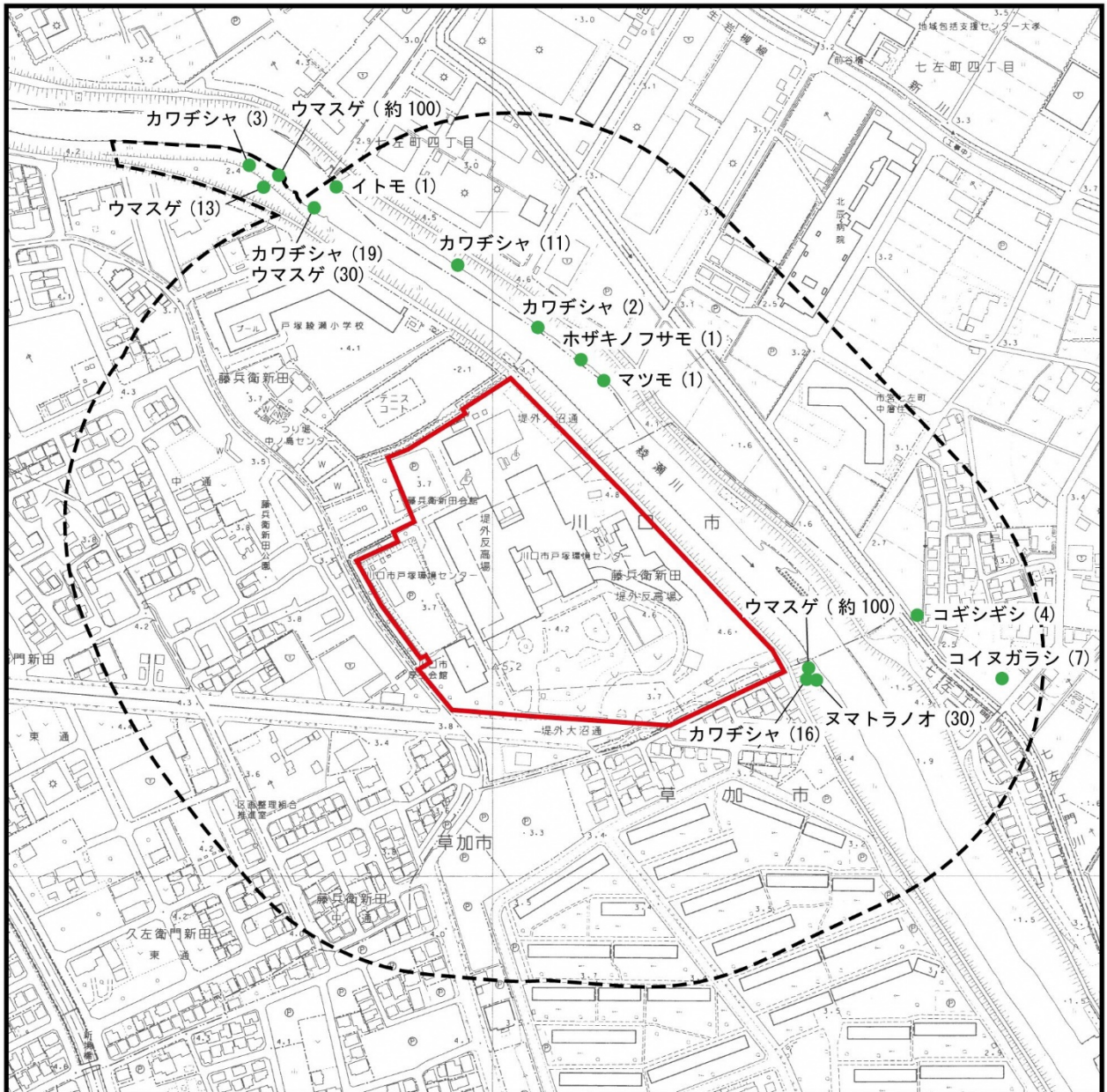


図 9.9-2(3) 保全すべき種の確認位置 (植物相：秋季)



- : 対象事業実施区域
- : 調査範囲
- : 保全すべき種確認位置 (春季)

注) () 内の数字は、確認例数を示す。

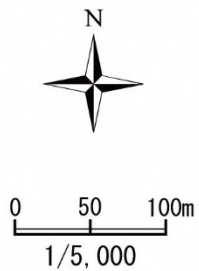




図 9.9-2(4) 保全すべき種の確認位置 (植物相：春季)

表 9.9-8(1) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）

科名	ハナヤスリ科		
種名	コハナヤスリ		
重要性	文化財	—	
	保存法	—	
	環境省	—	
	埼玉県	絶滅危惧 I B 類	
分布状況	北海道、本州、四国、九州		<p style="text-align: center;">確認個体</p>
形態・生育場所	<p>【形態】夏緑性の小型のシダ植物で、細い茎を伸ばし先のほうに孢子葉（実葉）をつけ、下の方にスプーン状の栄養葉（裸葉）を1枚つける。</p> <p>【主な生育環境】明るい草地などに群落を作り生育している。</p>		 <p style="text-align: center;">確認環境</p>
県内での生育状況	丘陵北、低山西、大宮台地に分布		
現地確認状況	秋 季：対象事業実施区域外、戸塚環境センター北側のテニスコート脇の草地で約 300 例が確認され、孢子葉が見られた。		

資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年、埼玉県）
 ：「愛媛県レッドデータブック 愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物」（愛媛県ホームページ）

表 9.9-8(2) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）

科名	ミズワラビ科			
種名	ミズワラビ			
重要性	文化財	—		
	保存法	—		
	環境省	—		
	埼玉県	準絶滅危惧		
分布状況	本州、四国、九州		確認個体	
形態・生育場所	<p>【形態】一年生の水生シダ。栄養葉（裸葉）はヨモギの葉に似た形状で地面に張り付くように生え、その後出てくる孢子葉（実葉）はシカの角状に細かく分枝をしながら成長する。高さ 5 cm くらいのをよく見るが、場所によっては 40 cm くらいまで成長する。</p> <p>【主な生育環境】稲刈り跡の水田や畦、土壌水位の高い放棄水田などで見られる。</p>			
			確認環境	
県内での生育状況	丘陵南、大宮台地、加須・中川低地に分布			
現地確認状況	秋 季：対象事業実施区域外の水田の畔 2 箇所です計 17 例が確認され、孢子葉が見られた。			



資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年、埼玉県）
 「愛媛県レッドデータブック 愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物」（愛媛県ホームページ）

表 9.9-8(3) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）

科名	タデ科		
種名	シロバナサクラタデ		
重要性	文化財	—	
	保存法	—	
	環境省	—	
	埼玉県	準絶滅危惧	
分布状況	本州、四国、九州、沖縄		確認个体
形態・生育場所	<p>【形態】高さ 50～100cm になる多年草。地下茎は長く伸び、分枝する。茎は直立し、よく分枝する。葉は披針形、両端は鋭形で、脈上や縁に伏毛があり、互生する。托葉鞘は長い筒形で、伏毛があり、長い縁毛がある。</p> <p>【主な生育環境】低地の日当りのよい水辺に生育する。</p>		
			確認環境
県内での生育状況	加須・中川低地～台地・丘陵帯に分布する。		
現地確認状況	秋 季：対象事業実施区域外の綾瀬川の河川敷で 5 例が確認され、開花が見られた。		

資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年、埼玉県）
 ：「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物 web 版」（岩手県ホームページ）

表 9.9-8(4) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）

科名	タデ科		
種名	コギシギシ		
重要性	文化財	—	
	保存法	—	
	環境省	絶滅危惧Ⅱ類	
	埼玉県	絶滅危惧Ⅱ類	
分布状況	本州（関東以西）、四国、九州		確認個体
形態・生育場所	<p>【形態】多年草。小型で高さは30～50cm。葉は長楕円状倒披針形で鈍頭、基部は円形、長さ4～6cmになり、両面無毛。</p> <p>【主な生育環境】河川沿いの砂地、田の畦、造成地等の土壌攪乱のある日当たりのよい湿った草地。</p>		
			確認環境
県内での生育状況	加須・中川低地、大宮台地に分布する。		
現地確認状況	<p>初夏季：対象事業実施区域外の水田で約50例が確認され、結実が見られた。</p> <p>春季：対象事業実施区域外の水田で4例が確認され、開花、結実が見られた。</p>		



資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成24年、埼玉県）
 ：「レッドデータブックとちぎ 2018 栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物」（平成30年、栃木県）

表 9.9-8(5) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）

科名	マツモ科		
種名	マツモ		
重要性	文化財	—	
	保存法	—	
	環境省	—	
	埼玉県	絶滅危惧Ⅱ類	
分布状況	全国に分布する。		確認个体
形態・生育場所	<p>【形態】根は無い。茎は20～100cmで分枝する。葉は5～8個が輪生し、1、2回二又に裂け、裂片は線形、長さ10～25cm。雌雄異花。花は極めて小さく、花被片は目立たない。雄花は雄蕊が10～20個あり、雌花は雌蕊が1個ある。</p> <p>【主な生育環境】湖沼、溜池、水路等に生育し、沈水性で普通浮遊する。</p>		
県内での生育状況	加須・中川低地～台地帯の水域に分布する。		
現地確認状況	春 季：対象事業実施区域外の綾瀬川で1例が確認された。		

資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成24年、埼玉県）
 「岐阜県レッドデータブック（植物編）改訂版準絶滅危惧（1）」（岐阜県ホームページ）

表 9.9-8(6) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）

科名	アブラナ科		
種名	コイヌガラシ		
重要性	文化財	—	
	保存法	—	
	環境省	準絶滅危惧	
	埼玉県	準絶滅危惧	
分布状況	本州、四国、九州		確認個体
形態・生育場所	<p>【形態】一年草または越年草。草丈 10～40cm。茎葉は長楕円形、長さ 2～4cm で羽状に深裂し、基部は小さい耳状に茎を抱く。花は葉腋に単生する。</p> <p>【主な生育環境】水湿地、休耕田。</p>		
			確認環境
県内での生育状況	加須・中川低地～低山帯にかけて広く分布する。		
現地確認状況	春 季：対象事業実施区域外の水田の畔で 7 例が確認され、開花、結実がみられた。		

資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年、埼玉県）

：「レッドデータブックとちぎ 2018 栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物」（平成 30 年、栃木県）

表 9.9-8(7) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）



科名	ユキノシタ科		
種名	タコノアシ		
重要性	文化財	—	
	保存法	—	
	環境省	準絶滅危惧	
	埼玉県	絶滅危惧Ⅱ類	
分布状況	本州、四国、九州		確認個体
形態・生育場所	<p>【形態】多年草。茎の基部から地中に数本の走出枝を出す。茎は直立して分岐せず、高さ 30～80cm、無毛で淡紅色を帯びる。</p> <p>【主な生育環境】日当たりのよい泥湿地、沼、水田、河原等を好むが、かなりの乾燥に耐える。このため、水位の変動する場所に群落をつくる。</p>		
			確認環境
県内での生育状況	加須・中川低地～低山帯の水田地帯にかけて広く分布する。		
現地確認状況	<p>初夏季：対象事業実施区域外の綾瀬川の河川敷の湿地で約 60 例が確認された。</p> <p>夏 季：対象事業実施区域外の綾瀬川の河川敷の湿地で約 60 例が確認され、開花が見られた。</p> <p>秋 季：対象事業実施区域外の綾瀬川の河川敷の湿地で約 60 例が確認され、結実が見られた。</p>		

資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年、埼玉県）

：「レッドデータブックとちぎ 2018 栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物」

（平成 30 年、栃木県）

表 9.9-8(8) 保全すべき種の生態及び確認状況（植物相）

科名	バラ科		
種名	ナガボノシロワレモコウ		
重要性	文化財	—	
	保存法	—	
	環境省	—	
	埼玉県	準絶滅危惧	
分布状況	北海道、本州、四国、九州		確認个体
形態・生育場所	<p>【形態】多年草。根茎は太く、葉は根生する。根出葉は 11～15 個の小葉から成る。小葉は長楕円状線形で長さ 2～8cm、幅 1～2cm。茎は高さ 80～130cm で、その先に花穂をつける。</p> <p>【主な生育環境】トダシバ、ヌマガヤ等の生育する湿地、水田の土手等。</p>		
			確認環境
県内での生育状況	県の南部・東部の荒川西台地、大宮台地、加須・中川低地に広く分布		
現地確認状況	<p>夏 季：対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地で 1 例、調査範囲南東側の湿地 3 箇所計約 105 例が確認され、開花が見られた。</p> <p>秋 季：対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地で 1 例、戸塚環境センター東側の敷地外の草地で約 50 例、調査範囲南東側の湿地 2 箇所計 13 例が確認され、開花が見られた。</p> <p>（ワレモコウ属の一種）</p> <p>初夏 季：対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地で約 200 例、綾瀬川の河川敷の湿地 2 箇所計約 90 例が確認された。</p> <p>夏 季：対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地で約 200 例、綾瀬川堤防上の道路際で約 20 例、綾瀬川の河川敷の草地で約 300 例が確認された。</p> <p>秋 季：対象事業実施区域外の綾瀬の森の湿地で約 200 例が確認された。</p>		

資料：「埼玉県の希少野生生物 埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」（平成 24 年、埼玉県）

：「レッドデータブックとちぎ 2018 栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物」

（平成 30 年、栃木県）